

## 研究主題 「見方・考え方を働かせて課題解決できる生徒の育成」～主体的・対話的で深い学びを通して～

単元を貫く問い合わせすれば自然なやり取りができるだろう。

／ 単元ゴール 友達や ALT と、英語で『自然な』やり取りができるようになろう。

この単元と関連した領域の付いている力(◆)と内容(・)  
 【中村小学校第6学年の「[話すこと[やり取り]]-アイユに関するCAN-DOリストより】  
 ◆初対面の人や知り合いと挨拶を交わしたり、相手に指示や依頼をしてそれに応じたり断つたりすることができる。  
 ◆日常生活に関する身近で簡単な事柄について、自分の考えや気持ちなどを伝えたり、簡単な質問をしたり質問に答えたり、それに反応したりすることができる。  
 ◆自分や相手のこと及び身の回りのものに関する事柄について、その場で質問をしたり答えたり、それに反応したりして短い会話をすることができます。

## 本単元の目標

学習指導要領「話すこと[やり取り]」-ア  
 関心のある事柄について、簡単な語句や文を用いて即興で伝え合うことができるようになる。  
 「CAN-DOリスト」形式の学習到達目標「話すこと[やり取り]」1年生①  
 関心のある事柄について、分からることや自分が関心のある事などを相手に聞き返しながら、簡単な語句や文を用いて即興で伝え合うことができる。

## 学びに向かう力、人間性等

話題に応じて、自分が知りたい情報を尋ねたり、話し相手の発話に応じたりして、やり取りを続けるために、関連する質問や反応などを返そうとする。また、動画などをもとに、自ら既習内容等を振り返り、より自然なやり取りをしようする。

単元終了時のめざす生徒の姿  
 目的・場面・状況に応じて、自分が知りたいことを知るための質問をしたり、相手の発話に応じて関連する内容の質問や反応をしたりして、やり取りを続けている姿。

思考力・判断力・表現力等  
 話題に応じて、自分が知りたい情報を尋ねたり、話し相手の発話に応じたりして、やり取りを続けるために、関連する質問や反応などをしながら、やり取りを続ける。

知識及び技能  
 疑問詞 (what, / where / when / how) や I want to などを用いた文の構造を理解する。また、日常的な話題でやり取りを続けるために、疑問詞 (what, where, when, how) や I want to などを用いて尋ねたり伝えたりする 技能を身に付ける。

## この単元からつながっている領域の付けたい力と内容

【第2学年】  
 ◆夏休みの旅行計画について、相手の質問に答えたり、相手の返答や自分の関心に応じて相手に聞き返えしたりしながらやり取りすることができる。(Unit 1 [やり取り]-ア)

【第3学年】  
 ◆与えられたトピックや関心のある事柄について、自分の考えやその理由などを含めながらやり取りすることができる。(通常: 帯活動での Small Talk [やり取り]-ア)  
 ◆災害時に ALT が自分で自分の命を守るように、読んだ情報や ALT の困っていることなどを事実として挙げながら、ALT に理由も含め自分の考えをアドバイスしたり答えたりすることができる。(Unit 4 [やり取り]-イ)

【高校】  
 ◆日常的な話題について、使用する語句や文、対話の展開などにおいて、多くの支援を活用すれば、基本的な語句や文を用いて、情報や考え方、気持ちなどを話して伝え合うやり取りを続けることができる。([やり取り]-ア)

## 活動

日常的な話題を用いて、簡単な質問や答えを伝え合うことで、やり取りを続ける活動。

与えられた目的・場面・状況に応じて、相手の発話内容に関連する質問をしたり、反応や発話をしたり、して会話を続ける活動。

目標: 一つの話題で、関連のある質問や反応などをして、会話を続けるための思考力・判断力・表現力及び、既習事項や教科書の内容、これまでのやり取りの記録などから、必要なものを選択し、活用しようとする力を身に付ける。

【活用課題(4時間予定)】\*端末を用いた個別での学習を主体として進める。  
 問い『どうすれば「より自然な」やり取りになるだろう。』

【第5時～第8時】(本時5/8)  
 ○JTE と ALT のやり取り動画(2パターン)を視聴し、より自然なやり取りについて考える。  
 ○これまでのやり取り動画を確認し、より自然なやり取りにするにはどうすればよいかを考える。  
 ○課題を確認する。

1. 第1時～第4時で行ったやり取りを(再構築)再度ペアで行い、動画を撮影する。(ロイロ)
2. 教科書 Story2 を含む対話文を読んで、自然な対話となるように空欄に入る発話を考える。(ロイロ)
3. 別のトピックでのやり取りのマッピングを作成し(チャット等で共有)、やり取りをペアで行い、動画を撮影する。(ロイロ)
4. チャットでやり取りをする。

☆考えられる生徒の活動(以降は生徒が学習課題に対して、個別で学習を進める)

- ALT と JTE のやり取り動画を見て、表現や自然なやり取りを続けるためのヒントを得る。(情報収集)
- 教科書から表現や会話の流れについて学ぶ。(情報収集)
- これまでのやり取りの動画を見直し、やり取りの内容について、ペア等で再構築する。(整理・分析)
- チャット等で互いの進捗状況や疑問などを共有し、生徒同士で学び合う。(アウトプット)
- ペア等でトピックを決め、やり取りの練習をする。(アウトプット)\*一斉でも行う
- ALT や JTE とやり取りをして、自己の成長や課題について振り返る。

(アウトプット・振り返り)\*一斉でも行う。

目標: 主に日常的なやり取りを一斉での言語活動を重ねて、必要な知識・技能を身に付ける

【知識・技能習得(4時間)】○一斉 ●個別(ICT 活用)  
 問い『やり取りを続けるには、どんな表現が使えるだろう。』

## 【第1時】

- ・ペアで日常的な話題の(英語での)やり取りがスムーズに続かないことに課題4 意識を持たせる。【O】  
 “Do you like sports?”
- ・ペアでやり取りを続けるには、どんな力が必要か考える。【O】
- ・互いによく知るために、相手に聞きたいことを考え、JTE と ALT の対話から表現について学ぶ。【O●】
- ・ペアでやり取りをする。\*動画等で記録する。【O●】  
 \*What sports do you like? / Do you play ~?  
 Are you a soccer fan? など

## 【第3時】

- ・前時の内容で Small Talk をする。【O】  
 •What food do you like? をトピックとしてやり取りをする。【O】
- ・ALT と JTE のやり取り動画から、その内容を考える。【O●】
- ・ALT と JTE のやり取り動画から、ペアでのやり取りに活かせそうな表現について考える。【●】
- ・ペアでやり取りをする。\*動画等で記録する。【O●】  
 \*Do you want to ~? / What do you want to eat for dinner today? / I want to ~. など

## 【第2時】

- ・前時の内容で Small Talk をする。【O】  
 •What club are you in? をトピックとしてやり取りをする。【O】
- ・このトピックでやり取りを続けるために、どんなことを尋ねたり答えたりすればよいか考え、教科書本文 Story1 から表現を学習する。【O●】
- ・ペアでやり取りをする。\*動画等で記録する。【O●】  
 \*Where do you practice? / When do you practice? / Where is ~? / When is ~? など

## 【第4時】

- ・前時の内容で Small Talk をする。【O】  
 •What do you use to practice? をトピックにペアでやり取りをする。【O】
- ・本文 Story3 を読んで、どのようなやり取りになっているか、内容を読み取る。【O】
- ・本文の空欄などのような質問が入るかを考える。【O】
- ・ペアでやり取りのマッピングを作成し、やり取りする。\*動画等で記録する。【O●】  
 \*How many ~? など

☆単元を通して扱う言語材料の習得を行う時間には、一斉での言語活動などを中心に行い、活用する場面で端末を用いた個別での学習に重きを置く。

## 評価規準

## 【知】

疑問詞 (what, / where / when / how) や I want to などを用いた文の構造を理解している。また、日常的な話題でやり取りを続けるために、疑問詞 (what, where, when, how) や I want to などを用いて尋ねたり伝えたりする 技能を身に付けています。

\*パフォーマンステスト等で総括的な評価を行うため、記録に残す評価は行わない。生徒のノートや動画等をもとに、定着状況を見取る。

## 【思】

## 【主】

話題に応じて、自分が知りたい情報を尋ねたり、話し相手の発話に応じたりして、やり取りを続けるために、関連する質問や反応などをしながら、やり取りを続けている。

見方・考え方  
を働かせる  
生徒の姿勢

話題に応じて、どのような質問をすべきか考え、学習した表現を活用してやり取りしている姿。

やり取りの中で、話し相手が話した内容に応じて、関連した質問や反応などを返しながら、やり取りを続けている姿。

## 生徒の実態と指導観

コミュニケーションに対して非常に積極的なクラスで、ペアでのやり取りに活発に取り組むことができる。第1学年では「やり取り」を扱う単元が初めてで、「やり取り」に関するパフォーマンステストは中学校では未実施であるが、Unit1、Unit2 終了後に実施した「話すこと(発表)ア」を扱った単元のパフォーマンステストでは、A 評価の生徒が〇%、B 評価の生徒が〇%、C 評価の生徒が〇%であった。生徒の発話内容から、(成果)・(課題)。

そのため、本単元の構成としては、単元前半には、目的に応じた自然なやり取りを続けるために必要な知識・技能の習得を目指した、一斉指導による言語活動を中心として行う。また、学習した表現を活用したやり取りの動画を撮影し、それらを学習の履歴として残していくことで、単元後半に個別で課題解決していく際に参考できるようにする。単元後半では、自らの学習履歴や他生徒のやり取り、またクラスメートとのチャットに残っているものや教科書などからヒントを得て、個別で学習を進め、課題を解決できるようにしていきたい。

【本時の目標】1つの話題に関連した質問をしながら、やり取りを続ける。

【本時における見方・考え方】これまでに学習した表現などを活用しながら、1つの話題に対して、どのような質問ができるのかを考えながら、やり取りを続けようとする。

問題  
「スポーツ」について、ペアでやり取りを続けるために、どんな質問をすればいいか？

めあて  
話題に関連した質問をたくさんしながら、やり取りを1分間続けよう。

- Do you ~ ?
- Are you ~ ?
- Can you ~ ?
- What sport do you like ?

- Do you play soccer ?
- Do you like baseball ?
- Are you a tennis fan ?
- Can you play baseball ?
- What sport do you like ?
- What sport can you play ?

まとめ

- What sport do you like ?
- What sport do you play ?
- What sport can you play ?

振り返り

◎教科の見方・考え方を働かせて課題解決させる手立て  
（「問題」「めあて」の工夫、まとめ、発問、活動など）

単元の構成として、単元前半では、単元の目標を達成するために必要な知識・技能(表現)の習得を目的とした言語活動を一斉での学習を中心として行い、活動に応じて個別で学習する場面を設定するようとする。後半では、課題を提示した上で、生徒がこれまでの学習の履歴(動画など)を振り返ったり、資料などから新たなことに気づいたりするなど、個別で学習する時間を中心に設定していく。

本時では、単元後半のスタートとして、これまでのやり取りを動画などで振り返らせるとともに、さらに自然なやり取りにするにはどうすればよいか、という点で課題意識を持たせる。その際に、ALTとJTEのやり取りの動画を比較し、「自然なやり取り」とはどういったものか明示できるようにしたい。

また、生徒が個別で課題に取り組む中で、生徒同士が互いの取り組み状況や考えなどを参照し合えるように、教師が個々の状況を把握するとともに、クラスルームやロイロノートなどを用いてそれらを共有できるようになる。

問題・めあての共有



個人思考・全体共有



まとめ・振り返り

①ペアでスモールトークをする。  
JTE : Do you like school lunch ?  
ALT : Yes, I do.

JTE : What's your favorite school lunch menu ?  
ALT : My favorite is karaage. It's delicious.  
JTE : I see.

\*JTEとALTのモデルを聞いた後、ペアでスモールトークをする。

2.ペアで1分間のやり取りをする。(1回目)  
T : Now, let's try 1 minute-Talk with your partner.  
The topic is "sports." Let's start with " Do you like sports ?"

【生徒の発話例】  
A : Do you like sports ?  
B : Yes, I do.  
A : Me, too. What sport do you like ?  
B : I like soccer.  
A : I see.

3.自分たちが質問することができる表現を確認し、困り感を共有する。  
T : What questions did you ask ?  
S1 : What sport do you like ?  
T : どんなことに困った ?  
S1 : どんなことを聞いていいのか分からない。  
S2 : 英語でどう伝えていいのか分からない。

問題:「スポーツ」について、ペアでやり取りを続けるために、どんな質問をすればいいか？

T : 質問する時はどんな表現を使うことができた ?  
S : Do you ? / Are you ? / Can you ?  
T : 話題が「スポーツ」だったら、どんな質問ができる ?  
S1 : Do you play~?  
S2 : Are you a soccer fan ?  
S3 : What sport do you play ?

めあて:話題に関連した質問をたくさんしながら、やり取りを1分間続けよう。

4.ペアで1分間のやり取りをする。(2回目)

【生徒の発話例】  
A : Do you like sports ?  
B : Yes, I do.  
A : Me, too. What sport do you like ?  
B : I like soccer.  
A : I see. What sport do you play ?  
B : I play soccer and tennis.  
A : Really ? Nice!

T : How was your conversation ?  
S : できたけど、なんか物足りない。もっと質問したい。

5. ALTのやり取りの音声を聞き、自分たちのやり取りの内容を考える。  
T : I prepared a video. ALTs talks about "sport." Let's listen to it, and take notes things that you want to use.  
\*何度も ALTの動画を見ながら、自分たちが使ってみたい表現をメモする。

【ALTのやり取り】  
A : What do you do at night ?  
B : I watch TV, play games, and read manga.  
A : Oh, I see. What TV show do you watch ?  
B : I watch sports program.  
A : Oh, really ? Do you like sports ?  
B : Yes, I do.  
A : What sport do you like ?  
B : I like soccer. How about you ?  
A : I like tennis and basketball.  
B : Really ? Can you play tennis ?  
A : No, I can't. I just watch it.  
B : What sport can you play ?  
A : I can play basketball.

6.メモを取った表現を全体共有する。

T : 使いたいなと思った表現は ?  
S1 : What sport do you play ?  
S2 : What sport can you play ?  
T : もうすでにみんなは What sport do you like ? は使い慣れているね。同じように動詞を変えたり、do を can に変えることで質問の幅が広がるね。

7.ペアで質問したいことを考える時間を再設定し、やり取りを録画する。  
\*何度も録画したものの中で、1番よくできたものをそれぞれが保存し、クラスルームに提出をする。

8.本時のまとめをノートに書く。

まとめ  
•What sport do you like ?  
•What sport do you play ?  
•What sport can you play ?

適用問題: What anime do you watch ?

9.本時の振り返りをする。

T : 振り返りの視点は「今日できるようになったこと」「もっと聞きたかった表現」です。  
今後も自然なやり取りをするために、どんな質問をしたり、対話したらよいのかについて、学習していきます。

<指導上の留意点>  
既習事項を想起させ、板書することで明確にし、自分たちが現段階でどのような力がついているのかを確認させる。

<指導上の留意点>  
これまでに学習した表現を使ってやり取りをする中で、内容面をもう少し広げてみたいという思いを持たせた後、ALTの動画を見せる。

<指導上の留意点>  
What sport do you like ? を基本とした他の質問にも着目させるよう、全体共有の場で確認する。

<指導上の留意点>  
ペアでのやり取りを録画させ、単元最初でどのくらいの力があり、今後どんな力が付いていくのかを対比させたり、内省せたりするために録画することを伝える。